

### 3. 小児の健康をめぐる諸因子に 関する研究

#### 分担研究者

平山 宗宏 (東京大学)

#### 研究協力者

木村 三生夫 (東海大学)

高橋 種昭 (淑徳短期大学)

小林 芳文 (横浜国立大学)

詫間 晋平 (国立特殊教育研究所)

五十嵐 正紘 (自治医科大学)

蒼野 悟郎 (都立府中病院)

高石 昌弘 (国立公衆衛生院)

川井 尚 (都立精神医学総合研究所)

沢田 啓司 (日本総会愛育研究所)

高山 忠夫 (都立補装具研究所)

中川 英一 (秋草短期大学)

小林 臻 (東京大学)

日暮 真 "

飯島 久美子 "

### これからの子どもの健康に関する考察

#### 疾病発見のためのスクリーニング

#### から健康増進へむけての発展の必要性

今後の小児保健の方向、とくに1980年代からさらには21世紀を見通しての方向を考える場合、短期将来と長期将来の二段構えの考察を必要とするが、以下にその概要を述べる。

#### 1. 人口動態からみた背景

最近の情報によれば、以前に人口問題研究所が試算した人口推計が現実とかなりくいちがひ、将来のわが国の人口がこれまでの予想よりかなり少なくなりそうだとのことである。すなわち、昭和40年代に入ってからほぼ横ばいを続けていたわが国の出生率が、49年から急激に低下しはじめている。すなわち、人口1000人当り出生率でみると、47年19.3、48年19.4、であったのが、49年18.6、50年17.1、51年16.3、52年15.5、53年14.9、54年14.3と目立って低下し、かつてのひのえうまの年（41年）の意識的に低かった異常値13.7に近づいている状況である。15歳以上49歳までの女性が生涯何人の子どもを産むかかという合計特殊出生率でみても、48年の2.14からじりじりと低下し、53年には1.79、54年の推計では1.75位になったという。この数値が2.1を下廻ると人口の再生産率は1を割って先細りとなるので1.7代はかなり低率であり、もしこの率が1.65まで下って固定したとすると、わが国の人口は70年後には9000万人に減るといわれるので（昭和51年秋の人口問題研究所による推計人口は50年後に1億4000万程度で静止）とくらべて大きくくいちがひになってしまう。こうした年少人口、とくに出生率の低下はいろいろな面で影響を与え、今後はわが国の国民総生産を維持するために生産性の向上だけでは到底追いつかない時代がくることも予想され、人口資質の向上についても乳幼児の健康管理に対しより積極的にとりくむ必要があることが強調される。

このような将来の人口構成の推定や老年人口の増加、そして必然的におこる労働人口の負担加重の論議はくりかえし提出されているが、これは現在のおとなが老年に達したときに困るからという次元の発想であってはならない。将来の、少なくとも21世紀をめざしての人類の健康や幸福を考えると、その基盤として80年代の子どもの健康を真剣に考え、よりよい方向へ最大限の努力をすることが、われわれの責任である。

## 2. 小児期の一貫した健康管理システムの必要性

現在の小児の健康管理は、出生前は妊婦の健康管理の中で母子一体のものとして考えられ、出生後は新生児期は引つづき主として産科施設内で扱われるが、その施設退院後は居住地域内で乳幼児健康管理のシステムの中に入る。そして就学までは主に厚生省の管轄下であり、次のような健康診査、保健指導が行われている。

乳児健診：公費で2回の健診を医療機関依託方式で実施。地域によってはこのほかに保健所や市町村による健診も実施

幼児健診：1歳6月、児健診を市町村が、3歳児健診を保健所が実施

これら乳幼児健診だけでもこのようにいくつかの主体や形式で行われているため、健診の結果

の記録や追跡に一貫性を期待し難く、したがって子ども自身への保健サービスが有機的に行われ難い実情がある。例えば、健診の結果を、予防接種の予診に自動的に健診結果を応用できるような方式もまだ実現していない。このような現状下では、就学後の学校における健康管理（学校保健）に乳幼児期の、まして出生前のデータが活用されていないのは、さらには卒業後社会人になってからの健康管理に小児期の記録が繋がらないのは当然であるかも知れない。しかし同一人の体なのであるから、折角行われてきた健康や疾病の記録が常に有効に利用されることはその本人にとってたいへん有益な情報であること論をまたない。

こうした意味でこれからの健康管理は、所管の上級の役所が、厚生、文部、労働、総理府とようようにかわろうとも、地域の中では連続できるようなシステムになってほしい、この場合健康の問題である以上厚生省が主導するようになってほしい。もしその“台帳”の一貫化に“国民総背番号制”がらみの困難さが当面伴うならば、とりあえず個人本人のみが持っている記録だけでも一貫化がはかられることが望まれる。すなわち母子健康手帳と、学童、生徒手帳の一貫化を考慮し、少くとも母子健康手帳をその子の結婚に当ってプレゼントできるような形式を考えたい。少なくとも義務教育期間までの間の健康記録の連票は、厚生、文部両省間の協力で比較的容易に実現できる筈であり、これは子どもたちの生きた保健教育の教材ともなりうるものである。

以上の議論に関連して母子保健に関わる現行の状況および今後の問題点を、ライフサイクルを軸に表示して添付する。

### 3. 健康づくりへむけての健康管理の考え方

健康管理が健康づくりへむけてのものであるのは当然である、しかし、これまでの健康管理は実態として健康診査（診断）が主体であり、乳幼児健診にしても学校の中の健康診断にしても、病気や異常を発見し、手おくれにならぬうちに適切な医療、養護、教育につなげていこうという、いわばスクリーニングの意味合いが強かった。もちろんこれは大切なことで、今後とも充実し、より有効な手段の開発にも努めなければならない。またこれまでは異常を発見しても、それに対する事後措置、対策が必ずしも十分ではなかったという反省もつよく、早急に改善、充実してゆくという事後措置のシステムづくりをはからねばならない。

そしてさらには、病気になってからではおそいのであって、その前に予防すべきであるという予防医学的努力が要求されてきた。とくに予防の必要性が重視されるのは、まず治療の手段をもたない先天異常にもとずく疾患であり、また事故である。さらには環境衛生や予防接種という対応策をもつ感染症や、家庭環境におうところの多い心の面の問題等についても予防の必

要性が痛感される。

この予防医学の面の問題は、実はまだ手がつけられはじめた段階であって今後の重要な宿題である。なにしろ先天異常のように原因不詳のものが多く残されていたり、心の面のように対応が多岐、複雑かつ困難なものも多いからである。

このように健康障害発見のためのスクリーニングにしても異常の予防にしても、病気・異常を基盤にし、あるいは少くとも頭についての議論や実行である。

しかしこれからの保健においては、前記の疾患前提からさらに一歩ふみ出して、健康そのもののレベルを上げる方向で努力すべきであろう。健康のレベルアップということになれば、当然まず健康の定義や、健康の程度・レベルの評価基準を決めてゆかなくてはならない。健康というものがWHOの定義にあるように「心身のみならず社会的にもよい状態」であるにしても、健康レベルの評価を考えるということになればその前提として、もう少し尺度にできるような半定量的な健康の程度分類について検討をはじめなくてはならない。子どもの大多数はとくに病気をもっていないといわゆる健康児なのである。

健康のレベルアップは、もちろんこれまでも健康づくり、体力増進、健全育成などの表現で努められてきたし、最近はとくに子どもの体力低下について真剣に憂慮されている。倒れやすい、疲れやすい、骨折しやすい、反射神経がにぶい、自律神経失調が増加した、等々多くの点がとりあげられているし、対策を講ずる必要性は焦眉の急といってもよいであろう。ただしこれらの問題に関するマスコミ的議論の中には、調査の方法や結論の出し方について科学的な医学的配慮に欠けるものもあって、その評価には注意を要すると考えられるし、日本人にしても人類にしても、それほどおろかではないと信じるので、子孫の滅亡が近くに迫っているとは考えないが、いずれにしても警告としての意義はある。しかしこれまで、健康づくりや体力向上や健全育成の面が、体育や家政や福祉の方面の専門家によって努力されてきており、医学・保健分野からの参加がとぼしかったといえるだろう。そしてこれからは医学、とくに小児医学を基盤にもつ保健の専門家が本格的にこの面にのり出してきて、チームに参加しなければならない。

こうした意味で「治療から予防へ、そしてさらに病気を念頭においた健康管理から健康そのものの増進を目的とした健康管理へと発展」していくことが80年代から手がけはじめられ、21世紀にむけて実現させなくてはならないと考えられるのである。厚生省では今年の秋の乳幼児発育値の調査（いわゆる厚生省値の昭和55年版）にあわせて、幼児の健康度調査を実施し、幼児の健康の状態の実情把握に努めることにしているが、小児期を通じての健康づくりの

基礎データの1つとなるこれを期待している。

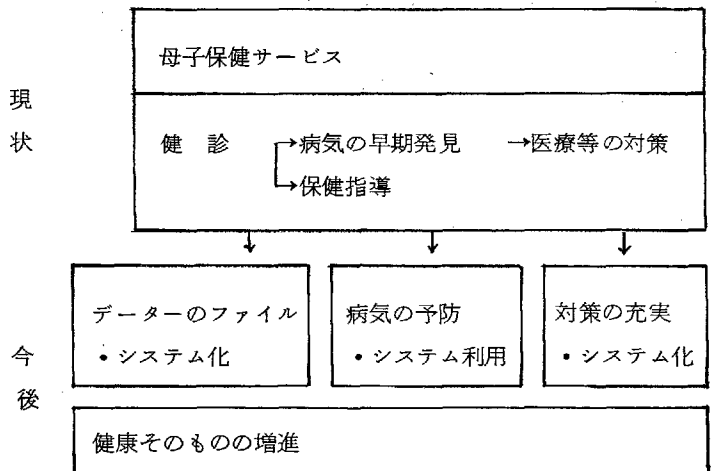
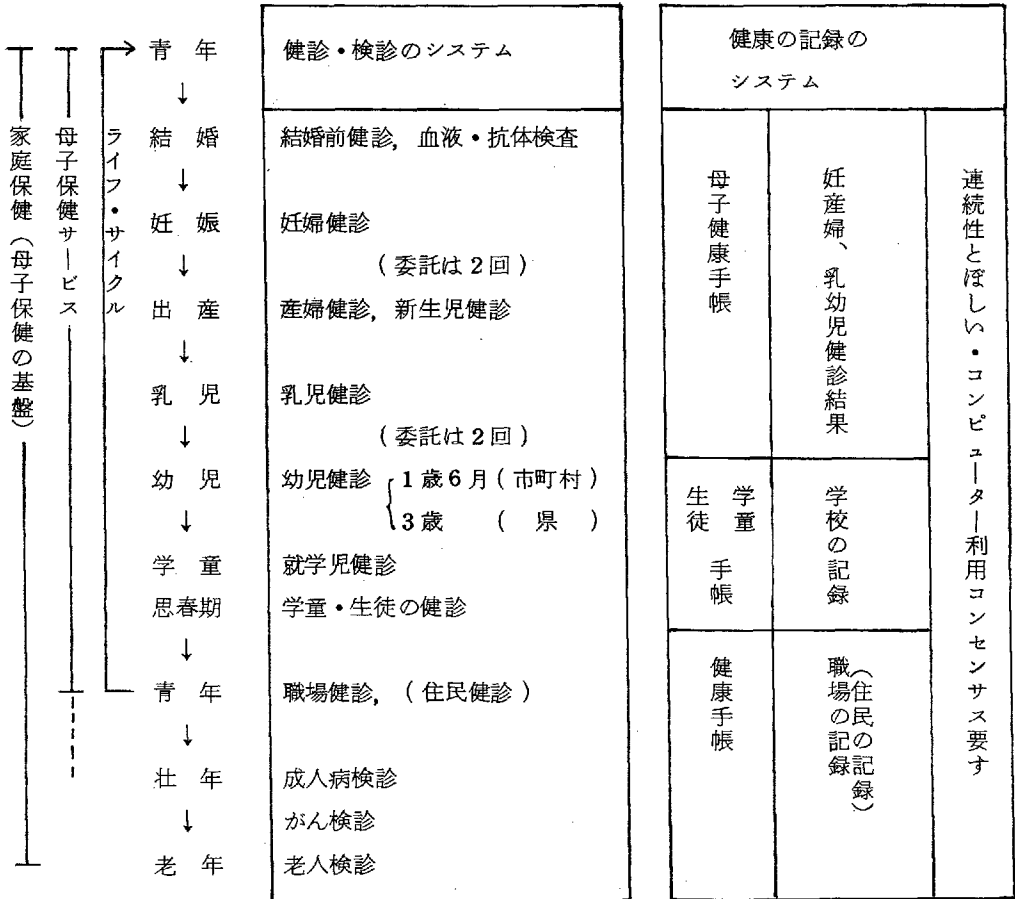
#### 4. 地域ぐるみの保健活動を——学校保健を地域保健のなかにとりこめ

以上の各項目の議論でもわかるように、子どもの健康を考える場合には、家庭と集団生活の場とを区別するわけにはいかない。学校も地域社会の中にある以上、地域の中で機能しているのだが、とかくこれまでの学校は、治外法権的で学校保健は地域の母子保健と連繫していなかった傾向が強いように思われる。最近はこの点への配慮もすすんで、たとえば健康優良学校選定の条件にも地域社会とのむすびつきがあげられるようになったのはたいへん喜ばしい。

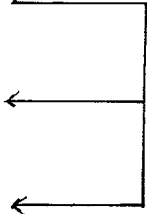
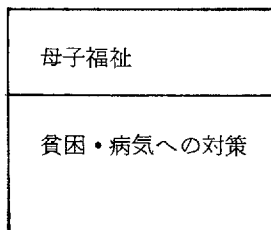
地域社会の中での学校保健ということでは、小児の伝染病の流行状況に関する情報やその予防対策、予防接種などがまず考えられる。子どもの間での風疹の流行が即妊婦の罹患、先天異常の出生という結果をうんだ例もあった。また保健知識が学校を通じ児童を介して地域住民に浸透する効果も大きく、食生活の改善に奇与した栄養指導の奏効例も報告されている。「ゆとりのある教育」実施の一方ではどうしても保健の授業時間数が圧縮されるおそれ大きいのが、学校保健活動を通じ、給食や手洗い、歯みがきなどの時間から、かぜの流行、予防接種などの機会に至るまで、あらゆる折を利用して保健教育をするようにすれば、本当に生きた教育、身につく保健知識とすることができよう。体育という面では運動会などの機会が利用しやすいが、生活全般を通じての健康づくりの指導は何といっても子どもを通じて家族におしすすめるのが有効であろう。

こうした地域ぐるみの健康づくりを含めた学校保健への進展に成功してゆけば、住民、即ちPTA側も熱心となり、校内の一般教師の協力も逆に得やすくなる面もあって、関係者全員の理解も深くなるろう。またこのような運動のためには校医や養護教諭から多くの教材を供給する必要があるが、そのためには、保健所や市町村保健婦等の専門職の人達の協力が有効である。保健に熱心な学校では、学校保健委員会に地域の保健婦が参加しているところもでてきている。

ライフサイクル・と家庭保健・母子保健



	保健教育・保健管理	健康づくり Positive Health
<p>健診の Follow up 精密健診 医療指導 養育指導 ↓ 施設要システム</p> <p>「事後措置」</p> <p>「母子緊急医療」</p>	<p>結婚・新婚学級・遺伝相談 母親学級、訪問指導 妊産婦保健管理 育児学級 訪問指導 乳幼児保健管理</p>	<p>生涯を通じての、 家族ぐるみの 健康増進活動・健康づくり。 (受動→能動) 子ども中心の考え方。 健康づくりのための 保健学的検討を。</p>
地域医療	<p>学校保健教育・保健活動 (ゆとりの教育との関連) 学校保健管理、性・遺伝教育</p>	
地域医療 職域 リハビリ	<p>職場、地域の保健教育 健康学級 地域保健管理</p>	



## 幼児の健康調査の予備調査成績

### 研究の目的

健康増進へむけての小児保健施策策定のための基礎資料としては、まず現状の把握が必要である。そのための調査としては昭和55年度に大規模な全国的調査が期待されるが、まずパイロット研究として、幼児から学童にかけての健康調査を実施したのでその成績を報告する。

### 研究の方法

幼児用（幼稚園児）および小学生用の健康状態アンケート調査を実施し集計した。調査票の質問項目は表中に略記したごとくであり、調査対象は埼玉県下の2幼稚園および東京都下の1小学校である。

### 研究の結果

表のごとくであった。かぜをひきやすいかとの質問には幼児で36.8%がはいと答え、学童では23.6～18.8%と減少した。かぜ対策として薄着をさせると答えた親が幼児38.3%、学童42.3～45.6%であったが、逆に厚着をさせると答えた親が20～30%あるのは一考を要する。食事についての心配も3分の1から半数の親がもっている実状がわかる。

予防接種の受接種率は比較的良好であった。起立性調節障害（OD）の傾向のある子どもの調査では、乗物酔いしやすい、ねおきがわるい、腹痛、頭痛をおこしやすい、の順に多くみられ、20～30%に及んだことは注目される。日常の生活指導の必要性が指摘されよう。



表 一健康状態に関するアンケートの結果

質問項目	幼児(N=870)			小学校低学年 (537)			小学校高学年 (506)		
	Yes,	不明	No	Yes,	不明	No	Yes,	不明	No
かぜをひきやすいか	36.8%	7.6	54.9	23.6	4.5	71.1	18.8	6.5	74.3
厚着をさせるか	30.0	7.2	62.4	23.5	5.6	70.8	21.5	3.4	74.7
うす着をさせるか	38.3	12.3	48.0	45.6	11.0	42.3	42.3	9.9	47.4
偏食するか	49.9	4.6	45.2	37.8	2.8	59.0	37.5	3.6	58.7
少食か	44.7	5.3	49.1	35.2	6.0	58.3	33.6	3.8	62.6
吐きやすいか	6.7	1.6	91.0	3.2	2.2	94.4	3.0	1.2	95.7
喘息があるか	8.7	2.2	88.6	6.1	1.5	92.2	7.1	1.4	91.5
ポリオ生ワクチンうけたか	97.9	1.4	0.3						
二混または 三混ワクチンうけたか	92.8	0.3	6.8						
はしかワクチンうけたか	52.5	0.8	46.0						
ツ反とBCGうけたか	85.9	0.3	12.9						
ねをきがわるいか				11.7	3.2	84.5	28.3	6.3	64.8
長く立ってられないか				0.6	1.7	97.4	1.2	1.8	96.6
入浴中気もちわるく なりやすいか				0.2	0.7	98.9	1.0	0.4	98.6
腹痛・頭痛おこしやすいか				9.7	2.6	86.6	14.6	4.7	80.4
乗物酔いしやすいか				22.0	3.4	73.9	25.3	6.3	68.2

## 幼児健康調査のためのアンケート 調査票（案）の作成

前述のごとき小児の健康調査の必要性にもとずきましたⅡ、の予備調査成績を参考としながら、全国的調査に使用する目的の調査票のアンケート項目を作成した。

作成に当っては、小児科、発達心理、幼児運動、幼児安全、<sup>\*</sup>社会、福祉、等の各分野からの討論を重ね、母親が正確に理解して解答を記入できる表現と内容という点に注意しつつ試案を作成した。

案は添付したごとくであり、1歳児用と2～6歳児用に分かれ、さらに1歳児用は後半が12～17月児用と18～23月児用に分かれ、また2～6歳児用も前半は各年齢共用、後半は各年齢別になっている。

この調査票はまず小地域でパイロット的に使用した上、その結果をふまえて修正後、全国的に調査に利用したいと考えている。

2～6歳児用

## お子さんの健康調査アンケートのお願い

厚生省では、これからの日本や世界をせおう子どもたちの健康をいっそう高めていくための資料として、健康や生活や体力の状態を調査しております。

つきましては、おいそがしいところを恐縮ですが、お子さんの今の状態についてのアンケートにご協力下さいますようお願い申し上げます。この調査は今秋に予定されている全国調査のための予備調査ですが、ご記入いただいた内容は集計のためだけに用い、他の目的には使用いたしません。

2ページ以降の質問にお答え下さい。もしわからない質問がありましたら、お子さんの様子をもう一度みなおしたり、やらせてみるなどして確かめて下さるようお願いいたします。

厚生省「小児の健康調査」研究班

お子さんの生年月日	昭和	年	月	日生	性別	男	女
-----------	----	---	---	----	----	---	---

4 ページまでの質問には全員の方がお答え下さい。

それぞれの質問のあとにある答のうちで、お子さんの状態に合うものをえらんで、その番号に○をつけて下さい。あてはまる項目がいくつもある場合には○をいくつつけてもかまいません。

1. これまでにうけたことのある健康診査(健診)に○をつけて下さい。

- (1) うけたことがない      (2) 生後3カ月ごろ      (3) 6カ月ごろ  
(4) 9カ月ごろ      (5) 12カ月ごろ      (6) 1歳6カ月ごろ  
(7) 3歳ごろ      (8) その他(歳月ごろ)

2. これまでにうけたことのある予防接種に○をつけて下さい。

- (1) まだうけたことがない      (2) 急性灰白髄炎(ポリオ)生ワクチン  
(3) ツベルクリンとBCG      (4) 百日咳・ジフテリア・破傷風の3種または2種混合ワクチン  
        ワクチン  
(5) 麻しん(はしか)      (6) 日本脳炎      (7) インフルエンザ

3. これまでにかかったことのある子どもの伝染病に○をつけて下さい。

- (1) とくにかかったことはない(2) 麻しん(はしか)      (3) 風しん(三日はしか)  
(4) 水痘(水ぼうそう)      (5) おたふくかぜ      (6) 手足口病  
(7) その他(病名を書いて下さい)

4. これまでに入院を要した病気にかかったことがありますか。該当する項目に○をつけて下さい。

- (1) 入院したことはない      (2) 肺炎または気管支炎      (3) 下痢症・消化不良症・腸炎  
(4) ネフローゼまたは腎炎      (5) 子どもの伝染病(はしか、しょうこう熱など)  
(6) リウマチ熱      (7) ぜんそく      (8) 脳帝・ずい膜炎・けいれん  
(9) その他(病名を書いて下さい)

5. 生まれた時からの病気や持病があれば○をつけて下さい。

- (1) ない      (2) 心臓病      (3) 発育のおくれ  
(4) 運動機能のおくれ      (5) ぜんそく      (6) なおりにくい湿疹  
(7) その他(病名を書いて下さい)

6. これまでにひきつけ(けいれん)をおこしたことがありますか。

- (1) ない      (2) 熱のでた時だけある(熱性けいれん)  
(3) 熱はなくてもひきつけたことがある

(2)か(3)がありの場合→ひきつけはこれまでに何回位ですか。 約  回

7.最近半年間に医師にかかる病気を何回くらいしましたか。

- (1) ない (2) ある→ 約  回

8.お子さんは現在かぜをひきやすいほうですか。

- (1) ほとんどひかない (2) 2～3カ月に1回くらいかぜをひく  
(3) 1カ月に1回くらいかぜをひく (4) 1カ月に2回以上、かぜをひく

9.これまでに医師にかかる必要のあるけがをしたことがありますか。あればその時のけがの種類に○をつけて下さい。

- (1) 医師にかかるほどのけがはしていない (2) 切り傷・刺し傷・すり傷  
(3) 骨折 (4) 脱臼 (5) くじいた (6) 打ぼく(うちみ)  
(7) やけど (8) かまれた (9) その他( )

10.かかりつけの医師はいますか

- (1) いる (2) いない (3) どちらともいえない

11.今お子さんには痛んだりしみたりする歯(むし歯)はありますか。

- (1) ある (2) ない (3) わからない

「ある」に○をつけた方におたずねします。痛んだりしみたりする歯はどこですか。

- (1) 上の前歯 (2) 下の前歯 (3) 上の奥歯 (4) 下の奥歯 (5) わからない

12. これまでに歯科医にかかったことがありますか。

- (1) ある (2) ない

13. 次にあげる症状やくせで気になっていることがあれば○をつけて下さい。

- (1) とくにない (2) 乗物酔いしやすい (3) いつも顔色がわるい  
(4) いつもねおきがわるい (5) 入浴中気持ちが変わりやすい  
(6) 午前中はゴロゴロしやすく、午後になると元気がよくなる

14. 日常の育児の相談相手は誰ですか。

- (1) 夫婦で相談する (2) 祖母(または祖父) (3) 近所の人  
(4) かかりつけの医師 (5) 保健婦・助産婦 (6) 保母・幼稚園の先生  
(7) その他( )

15. 健康なからだにするために気をつけていることがありますか。次のなかにあれば○をつけて下さい。

- (1) とくに気にしていない (2) うす着の習慣をつけるようにしている  
(3) 寒いときはなるべく厚着をさせてかぜひきに注意している

- (4) なるべく外で遊ばせるようにしている (5) なるべく家の中で遊ばせている  
(6) 乾布まさつあるいは体操をさせている (7) その他( )

16. 食事について心配なことはありますか。

- (1) とくにない (2) 少食である(食欲がない) (3) 好き嫌が多い(偏食)  
(4) おちついて食べない(あそびながら食べる) (5) その他( )

17. 自分でじょうずに食事をするようになっていますか。

- (1) ほとんど手伝ってあげている (2) 自分でスプーンを使って食べるがよくこぼす  
(3) スプーンならじょうずに食べるがおはしの使い方はまだへたである  
(4) おはして食べられるが持ち方はまだおかしい(にぎりばし など)  
(5) おはしを使ってじょうずに食べられる

18. おやつについて気をつけていることがありますか。

- (1) とくに気をつけていない (2) 時間をきめてあげている (3) ほしがるときにあげている  
(4) おやつでも栄養価に注意している (5) 甘いものは少なくしている  
(6) 甘いものに片よってしまう (7) その他( )

19. ふつう夜ねる時間と朝おきる時間は何時ころですか。

ねる時間……午後□時ころ おきる時間……午前□時ころ

20. ねむるときに何か困ることやくせがありますか。

- (1) とくにない (2) そいねしないとねられない (3) ねつくまでそばにいてあげる  
(4) 何かきまった物を持たないとねつけない (5) 哺乳びんをくわえていないとねつけない  
(6) ねつきがわるくて困る (7) 夜泣きをするくせがある (8) その他( )

21. 夜おしこの失敗(夜尼、おねしょ)をしますか。

- (1) 失敗はほとんどない (2) ときどき失敗する (3) 毎晩のように失敗する

22. 手を洗う習慣はついていますか。

- (1) 手洗いはやらない (2) 手伝ってあげれば洗う  
(3) 洗いなさいといえば自分で洗う (4) 食事の前など必要なときはいわれなくても洗う

23. 歯ブラシをつかう歯みがきの習慣はついていますか。

- (1) 歯みがきはまだやらない (2) 手伝ってあげればやる  
(3) みがきなさいといえば自分でみがく (4) 食事のあとなどいわれなくてもみがく

24. 指しゃぶりはありますか。

- (1) ない (2) ときどき指しゃぶりをするが気になるほどではない

(3) 指しゃぶりのくせがあって困る

25. タオルとかぬいぐるみなどで、いつも持ってあるいているようなお気に入りのものがありますか。

(1) ある(それは何ですか: ) (2) ない (3) どちらともいえない

26. おはしやスプーンを使うときどちら側の手を使っていますか。

(1) おもに右手 (2) おもに左手 (3) 両方同じように使う

27. お天気の日遊び場所をおたずねします。

(1) お天気の日でも家の中で遊ぶ (2) 少しは外で遊ぶ (3) よく外へ出て遊ぶ

28. お子さんの遊び方について、次のうちどのようにお考えですか。

- (1) 少しくらいけがをしたり服をよごしても活発に外で遊ぶのはよいことだ
- (2) けがをするのが心配でいつも気になっている
- (3) 服をよごされるとあとが大変なのでなるべくおとなしく遊んでほしい
- (4) あまり気にして考えたことはない

29. お宅から300m以内位のところで、お子さんが安心して遊べる場所がありますか

(1) 十分にある (2) まあある (3) まったくない

30. お子さんに何かおけいごをやらせていますか。

- (1) 現在やらせている (2) やらせたいと思っている
- (3) 幼児には必要ないと思っている (4) あまり考えたことはない

上の質問で(1)に○をつけた方は、やらせているものに○をつけて下さい。

- (1) お勉強のための塾(入園・入学の準備、英会話など)
- (2) 音楽(ピアノなど) (3) お絵かき (4) そろばん
- (5) 体操 (6) バレエ (7) 水泳 (8) 柔道・剣道
- (9) その他( )

31. おしっこのしつけはどのくらいまでできていますか。

- (1) まだ教えない (2) 教えるけれどひとりではできない
- (3) 少し手伝ってあげれば自分ができる (4) 全部自分ができる

32. 大便(うんち)のしつけはどのくらいまでできていますか。

- (1) まだ教えない (2) 教えるけれどもひとりではできない
- (3) 少し手伝ってあげれば自分ができる (4) 全部自分ができる

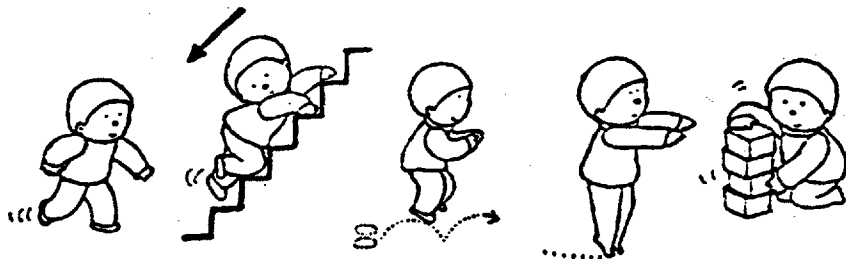
ご記入ありがとうございます。これからあとのページは、お子さんの年齢にあたるページ

だけをえらんでお答え下さい。

2 歳児（昭和52年5月から53年4月までの間に生まれたお子さん）

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| 1. 新聞や本を読むしぐさをするなどおとなのまねをすることがありますか                                   | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 2. 箱や積木をつみあげて塔のようなものを作ったり横に並べて列車にみたくて遊ぶことをしますか。                       | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 3. 「パパ カイシャ」などちがった意味をもつ言葉をつなげて話しますか。（二語文）                             | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 4. 同じくらいの子ともといっしょにいて遊ぶことをよるこびますか。                                     | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 5. 朝に「おはよう」、食事のあと「ごちそうさま」などのあいさつができますか。                               | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 6. コップや茶わんなど、自分のものと他人のものとの区別ができますか。                                   | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 7. なじみのない人に出あうと、はじめはお母さんなどにしがみついたり、うしろにかくれたりしても、なれてくるとその人と遊ぶようになりますか。 | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 8. 親以外の身近なおとなでなついている人がいますか。   | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |

以下の質問は下の絵を参考にして下さい。





9. ころばないで走ることができますか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
10. 階段をひとりですりろむきにはっておろることができますか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
11. 両足でビョンビョンとぶことができますか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
12. つま先で少し歩くことができますか。(2メートル) (1) はい (2) いいえ (3) わからない  
くらい
13. 小さな積木や箱を4個積み重ねることができますか (1) はい (2) いいえ (3) わからない
- 3 歳児 (昭和51年5月から52年4月までの間に生れたお子さん)
1. 「これをパパにあげてきて」「新聞をもってきて」など親の指示によろこんでしたがって行動できますか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
2. ままごと、自動車ごっこ、怪獣ごっこなど、ごっこあそびができますか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
3. 約束したことや順番を守ることができるようになりましたか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
4. 何でも自分でやりたがる場所がありますか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
5. お母さんなどいろいろなお話をするのが好きですか (1) はい (2) いいえ (3) わからない
6. お母さんなどから離れて遊ぶことがありますか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
7. 疲れたときやぐあいの悪いときはお母さんなどにくっつきたがるが、それ以外はあまりベタベタ甘えなくなりましたか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
8. ひとりでくつをはくこと、あるいはボタンをはずして上着をぬぐことができますか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない

以下の質問は下の絵を参考にしてください。

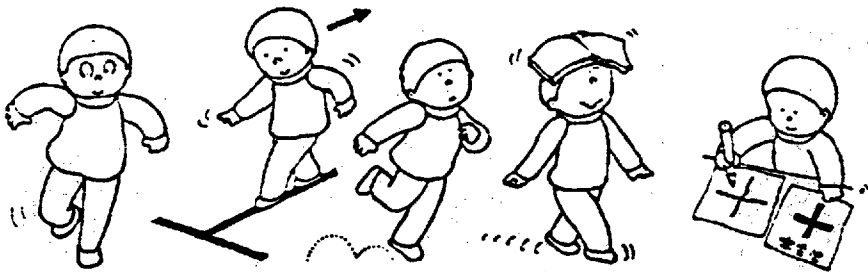


- |                            |                          |
|----------------------------|--------------------------|
| 9. 目をあけて片足立ちができますか。(2秒くらい) | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 10. でんぐりかえし(前転)ができますか。     | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 11. 片足けんけんができますか。(数歩)      | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 12. はずむボールをひろうことができますか。    | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 13. お手本をみて(○)がかけますか。       | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |

4 歳児 (昭和50年5月から51年4月までの間に生れたお子さん)

- |  |                          |
|--|--------------------------|
| 1. 自分の経験したことをお母さんなどに話しますか                | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 2. 友だちとお母さん役、運転士役などの役割をもったごっこあそびをしていますか。 | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 3. お母さんなどからほめられると、よろこんで得意がりますか。          | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 4. 勝ち負けのルールがわかるようになり、負けるとくやしがりますか。       | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 5. 自信ありげにふるまっていばってみせることがありますか。           | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 6. ほとんど発音をまちがえずに話すようになりましたか。             | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 7. 信号の色がわかり、交通安全のルールがわかるようになりましたか。       | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 8. 近所のよく知っているところなら簡単なお使いができますか。          | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |

以下の質問は下の絵を参考にして下さい。

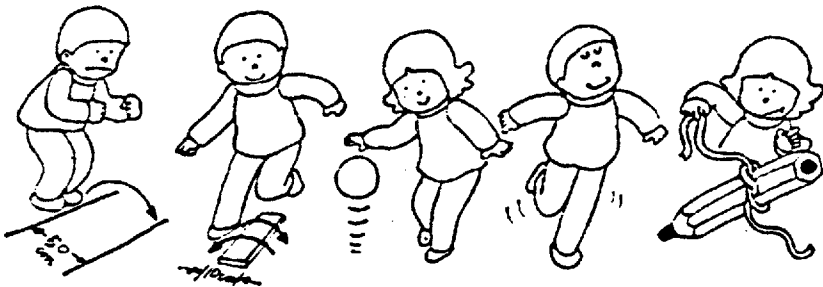


9. 目をあけて片足立ちができますか。(5秒くらい) (1) はい (2) いいえ (3) わからない
10. タタミノふちをふみはずさないように、あとずさりして歩けますか。(2メートルくらい)  
片足けんけんが10メートルくらいできますか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
12. 頭の上にひろげた週刊誌をのせて数歩あるけますか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
13. お手本をみて十字(+)がかけますか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない

5 歳児(昭和49年4月から50年4月までの間に生れたお子さん)

1. 自分の経験したことを思い出して絵にかきますか (1) はい (2) いいえ (3) わからない
2. 友だちと一緒に砂や積木で何かをつくって遊びますか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
3. 友だちなどのルール違反を「いけないだよ」などと注意しますか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
4. 友だちのなかに好きな子、きれいな子ができましたか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
5. おもちゃやお菓子などをほしくてもがまんすることができるようになりましたか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
6. 外から帰ってきてお母さんなどがいないと心配したり泣きべそをかいたりしますか。あるいはお母さんなどがお迎えにくるととてもよろこんでいますか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
7. 自分の右、左がわかりますか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない
8. お話を読んでもらったり、してもらうのがすきてそのすじがよくわかるようになりましたか。 (1) はい (2) いいえ (3) わからない

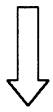
以下の質問は下の絵を参考にして下さい。



- |  |                          |
|--|--------------------------|
| 9. 両足をそろえて「立巾とび」ができますか。<br>(50cm以上)                              | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 10. 10cmの巾の板や紙(新聞紙をひろげて縦に5つ<br>折りしたくらい)を片足横とびで2往復とぶこと<br>ができますか。 | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 11. 片手で「まりつき」ができますか。(3回以上)                                       | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 12. 目をして片足立ちができますか。(3秒くらい)                                       | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |
| 13. ヒモで「かたむすび」ができますか。  | (1) はい (2) いいえ (3) わからない |



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



今後の小児保健の方向,とくに1980年代からさらには21世紀を見通しての方向を考える場合,短期将来と長期将来の二段構えの考察を必要とするが,以下にその概要を述べる。